
未来人の証言

ただ書く人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来人の証言

【Nコード】

N2416Y

【作者名】

ただ書く人

【あらすじ】

現代の時間跳躍研究所に相談に来た、自称未来人の男。偶発的な時間移動により行くあてもない男の言葉で語られるSFショートショート。

「たんとんとショートショート」というサイトに掲載済みの作品です

そんなことはできないのでございますよ。

ですから相談しているんじゃないですかい。

どうやって来たのかつて。わからないんでございますよ。

だから相談しているんじゃないですかい。

偶然来たのなら、また偶然で帰れるだろうつて。そんな偶然が都合よくやってきますか。

あなた方はあれですか、こういつた偶然によく遭われるのでございますか。

嘘なんてついてやしませんよ。

わたしは本当に未来の人間なんです。今は21世紀ですよ。わたしは23世紀にいましたから。生まれは22世紀、2178年生まれの43歳でございます。

証拠ですか。今着ているこの服もサンダルも、21世紀には売っていないと思いますよ。

そんなことじゃわからないつて言つたつて、わたしだつてわかりませんよ。

ちよつと買い物に出かけたただけなんで、小銭入れくらいしか持っていませんよ。

そうそう、この時代とは硬貨が違つはずでございますよ。ほら、これをご覧ください。

失礼だな。偽造なんかしませんよ。そりゃ、未来の硬貨なんだから本物かわからないつてのはわかりますがね。

ええ、ですから先ほども言いましたがね、時間移動なんてできませんよ。

少なくとも23世紀じゃ、時間移動ができるなんて話は聞いたことがございませんね。

タイムマシンなんてものはございませんよ。

それも先ほど言いましたでしょう。どうやって来たのかわからないので、それで相談に来たのでございますよ。
ここは時間跳躍研究所なのでございましょう。

これは驚いた。

時間跳躍研究所のくせに時間跳躍をしたことがないんですかい。
いや、まあ、正直に言いますとあまり期待はしていませんでしたよ。この時代に時間跳躍に成功していたら、23世紀でその技術が廃れているとは考え難いでございますからね。

それでも、それでもほら、パラレルワールドってのがございましてしょうよ。

もしかしたらこの時代、いや、この世界は時間跳躍の技術があるのかと、少しだけ期待はございましたがね。

ああそうですかい。無理ですかい。

それじゃ諦めました。ええ、この時代で生きていきます。

そう言われましてもね、諦めるしかございませんでしょうが。

それともなんとかしてくれるのですかい。

ほら、無理でしょう。じゃ、諦めますよ。

さあ、難民センターはどこですかい。

未来人つてのは難民として受け付けてもらえますかね。

わかりませんよね。

科学者つてのはだいたいそうなんだ。専門外のことにはわからない。専門のことはわからないから研究しているってんだ。それならいたい何がわかるって言うんですかい。

それでもいっちょ前にこどもの作り方はわかるってんだからね。まったく困ったものでございますよ。

ああ、すみませんすみません。

それで、難民センターはどちらにございますかね。

なんだつて引き止めるんですかい。

こんな小銭しか持たないで、誰も知らない過去に来ちまった未来人をいじめちゃなりませんよ。

この小銭だってどうせ使えやしないのでしょうよ。

ほう、そういうことは先に言ってくださいな。それじゃほら、イル力を食べてみたいね。この時代ならまだ食べているのでございましょう。

そんなこともわからないのですかい。

何にせよ手に入らないと、そういうことでございませうか。

それじゃお任せしますわ。客がわがまま言っちゃならないでございましょうよ。

このコーヒーはおいしいね。科学者もおいしいコーヒーの淹れ方はご存知のようで。

それじゃ、お聞かせしましょうか。未来の話を知りたいのでございましょう。

そう何度も同じことを聞くものじゃございませんよ。

どうやって来たのかってのは、こちらが聞きたいのでございませう。

その時の状況ですか。

タバコが切れてしまったものでね、買いに行こうと小銭入れを持って、サンダルを履いて玄関の扉を開けたのでございませうよ。

ああ、タバコは値上げの後に値下げがありますから、安心しておいってくださいな。

おや、吸わないのですかい。

それじゃ、今もお持ちではございませんかい。

ああ、それは残念だ。そろそろいただけないものかと思っていたのでございませうよ。

続きなんてございませんよ。

扉を開けました。そうしたら見ず知らずの場所にいました。おしまいです。

その後ですかい。公園のような場所にいましたのでね、そこにいた

若奥さんに話を聞いてもらったのでございます。

これがまた可愛らしい奥さんでございましてね、女は過去の方が可愛いように。

結婚を考えたこともございましたがね、この年にして独身なのでございませよ。

ああ、そうですね。それで図書館で調べ事ができるっていうので、図書館のコンピューターで調べたのでございます。

昔のコンピューターを使うのは初めてでございましたがね、いやはやなんとかなるもので。

ええ、それで一番近くて、助けになってくれそうでしたこちらに来た次第でございませよ。

神隠し。そうですね。そういうことになるのではございませんでしよつか。

ええ、もう大丈夫でございませよ。期待なんてもうこれっぽっちもございませんからね。

ですから、まずは難民センターに保護してもらわなければならないのでございませよ。

それくらいのことばかりませよ。来てしまったのでございませんからね、ここで生きるしかないでしよつか。

これでも未来人でございませんからね、この世界で役に立つ知識もございませんから、仕事くらいすぐに見つかるとしよつか。

タイムパラドックスでございませんか。そんなことを気にはしていらねないでしよつか。

働かざるもの食うべからずでございません。この時代でも同じような言葉がございませんか。

それにしても、仕事を見つけないまでの生活の目処をつけなければならんでございませんからね、国の機関に保護してもらわなければならないでございませんから。

いやいや、科学者ってのはどうしてこうも親切な人間が多いの
ございますかね。

すみません、しばらくご厄介になりますよ。

もちろん、何だっけ聞いてくださいな。今までだっけ何ひとつ隠し
事もございませぬし、嘘も言っけやしませんからね。

車は空を飛んでいませんし、先ほども言いましたが、時間旅行なん
てございませぬ。

未来のことなら、どんなことでもご質問くださいな。

エネルギーも食糧も問題ございませぬよ。医療はこの時代に比べた
ら、それはすごい進歩がございますよ。

何を隠そう、医師ではございませぬが、病院に勤務する技師でござ
いましてね、その辺りの話は得意でございますよ。

おや、消えてしまった。

過去には過去の常識やら礼儀やらってものがあるのですかい。

未来じゃ、話をしている人間の前から突然消えるってのはマナー違
反でございますよ。

どうやって消えたのですかい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2416y/>

未来人の証言

2011年11月14日04時59分発行